



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナポー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2010 Mar.

vol. 17

～道民カレッジボランティアの会の 設立について～

道民カレッジボランティアの会 理事長 林 芳男



北国では、なお寒さの残る弥生三月です。「道民カレッジ」会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

過日（2月25日）標記、ボランティアの会の設立総会が「かでの2・7」で開催されましたので、その概要をご報告致します。

冒頭、事務局から、設立の趣旨・目的並びに規約等の説明を頂き、落合俊忠議長の下、当日参加された道民カレッジ・ボランティアの皆様（遠方または都合がつかず、議長へ委任状を提出された方も含め）の審議を経て、若干の修正はありましたが、提案の本旨は全会一致で可決承認されました。

御承知の通り「道民カレッジ」は、北海道教育委員会が、いつでも、どこでも、学びたい時に学ぶことができる「学習の場」として、道民期待の中、平成13年9月に発足し、以来大学放送講座をはじめ、連携講座、地域に配慮した出前講座の創設等、その拡充に努め今日に至っております。

その結果「道民カレッジ」の受講生登録者数は2万3千人を超え、一方、これら多様な内容を持つ講座の円滑な運営を図るために、各地域で自発的に支援しようとするボランティア組織も誕生し、全道で百名以上の方が頑張っている。

また平成21年には、(財)北海道生涯学習協会が中心となり実施しました「ほっかいどう学検定試験」の合格者有志による「ほっかいどう学を学ぶ会」が結成されました。この会にも多数の「道民カレッジ生」が加入しております。

今、わが国は急速に少子化が進み、また食料事情や健康保険、医療福祉等の生活環境が整ったことから、世界に類を見ない高齢社会を迎えております。長寿に適合して、自らの生き甲斐(Q・O・L)を求める多くの人々にとって「学びから夢が生れる道民カレッジ」は、より身近で魅力のあるターゲットとして、一層の期待と注目が集まっております。

このように「道民カレッジ」の社会的存在意義は、いよいよ高まってきていると認識致します。

従いまして、これからの「道民カレッジ」の推進に当っては、道民カレッジ事務局と新たに誕生しましたボランティアの会の連携をより密にしつつ、ボランティアの皆様、「道民カレッジ生」の皆様方の智恵もお借りしながら、協働の精神で取り組むべきだと考えます。

「道民カレッジボランティアの会」の今後の活動に対し、関係の皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

道民カレッジの状況

(平成22年3月12日現在)

道民が、いつでも、どこでも、学びたい時に学ぶことができる「道民カレッジ」の現在の状況をお知らせします。

◎学 生 数 23,816人 (男性 10,394人 女性 13,422人)

◎管内別学生数

管 内	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	留 萌
受 講 生	8,544人	1,077人	1,013人	1,319人	1,030人	3,130人	791人
管 内	宗 谷	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室
受 講 生	743人	1,491人	711人	1,202人	918人	1,073人	774人

◎称号取得者

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞(1,000単位)	学長奨励賞(2,000単位)	学長奨励賞(3,000単位)
393人	249人	190人	34人	5人	1人

◎連携講座数

平成21年度
2,223講座

主催事業「ほっかいどう学」出前講座

6月9日(水)せたな町をかわきりに、全道6圏域12会場で実施された出前講座は、各地域の特色を生かし、地域づくりや人づくりをテーマとして開催されました。今年度特徴的なのは、教育委員会のみならず、首長部局や各種団体、大学等の連携で実施されたことが、大きな成果です。以下各会場の実施状況です。

市町村	テーマ	会場	実施日	講師	参加者
せたな町	最終氷河期から現在まで、私たちの生活している大地を利別川がどのように造ってきたのかを知り、地域住民の郷土愛を醸成する。	せたな町民ふれあいプラザ	6月9日(火)	(株)アースサイエンス 社長 岡 孝雄	71名
伊達市	世界遺産候補「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を学ぶ。	伊達市防災センター	8月22日(土)	北海道大学大学院文学研究科 教授 小杉 康	41名
網走市	色で考えるユニバーサルデザイン～高齢者に見えやすい色、必要な色～	オホーツク・文化交流センター	9月10日(木) 11日(金)	カラーコーディネーター 外崎 由香	54名
釧路町	自分の町の宝を掘り起こそう	釧路町遠矢コミュニティセンター	9月26日(土)	北海道食育コーディネーター 貫田 桂一	25名
幕別町	森も人も健康になろう	幕別町役場 忠類総合支所他	9月26日(土)	北の森林と健康ネットワーク 理事長 林 芳男	39名
羽幌町	シニア世代の地域参加～ボランティア活動～	羽幌町中央公民館	10月6日(火)	(財)北海道開拓の村 事業課長 中島 宏一	36名
月形町	まちづくりとまちづくり塾～まちの魅力を再発見～	月形町交流センター	10月24日(土)	札幌国際大学人文学部 教授 林 美枝子	25名
根室市	根室の自然の魅力を再発見	春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター	10月25日(日)	(財)日本野鳥の会野鳥保護区事業所 所長 松本 潤慶	25名
中頓別町	食と健康～地域の食材の健康機能、生活習慣病の予防～	中頓別町民センター	11月10日(火)	旭川大学保健福祉学部 助教 松浦 智和	38名
音更町	生涯学習による住民参加と協働によるまちづくり	音更町総合福祉センター	11月19日(木)	宗教法人正覚院 住職 松村 俊昭	66名
鹿部町	温泉を活用した鹿部らしいまちづくり	鹿部中央公民館	2月18日(木)	札幌国際大学観光学部 教授 松田 忠徳	31名
奈井江町	大学と連携した健康と教育のまちづくり	奈井江町文化ホール	2月20日(土)	北海道医療大学看護福祉部 教授 三國 久美	41名
合計					492名

称号取得者等「学習成果活用セミナーX」を開催

～テーマ「学習成果を幅広く生かすために」～

道民カレッジの称号取得者及びモニター等が集い、これまでの学習の成果を生かし取り組んできた活動について情報交換し合い、さらなる活動への広がりを探ることを目的に開催し、52名が参加しました。

1. 期 日 平成22年2月25日(木)
2. 会 場 道民活動センター「かでの2・7」6階 学習室(A・B)
3. 研修内容

- (1) 講 義 「学習成果を幅広く生かすために」
講師：札幌国際大学 准教授 佐久間 章 氏
- (2) 実践発表Ⅰ「道民カレッジに学んで」
 - ① 道民カレッジボランティア(本部) 熊谷 ゆき 氏
 - ② 道民カレッジボランティア(本部) 齋藤 和男 氏
 - ③ 道民カレッジボランティア(本部) 福田 重三 氏



- (3) 実践発表Ⅱ「企画・実践発表」
 - ① 「道民カレッジ」にかかわる学習活動と今後に向けた活動への広がりや深まりを求めて
～「北見受講者の集い」から「オホーツク圏域」にいたる学習活動とボランティア活動について～
元オホーツク圏ボランティア(道央圏) 早坂 惇司 氏
 - ② 「学びから夢が生まれる道民カレッジ」と私のコラボレーション
道民カレッジボランティア(本部) 林 芳男 氏
 - ③ 自主企画講座開講について
道民カレッジボランティア(本部) 佐藤 一雄 氏
- (4) グループ協議
「各グループ内メンバーによる協議(7グループ) 経験交流・意見交換」
- (5) 講 評 札幌国際大学 准教授 佐久間 章 氏

特集 道民カレッジ・アンケート集計

道民カレッジの運営に関わり、皆様のご意見等を聴取するため、道民カレッジモニターの方々にアンケートをお願いいたしました。「ほっかいどう学大学放送講座」「ほっかいどう学出前講座」「連携講座」について、記号による回答の他、記述していただく箇所では、貴重なご意見も多く、今後の運営に生かせるものと感謝しております。ここでは、紙面の都合上24項目のうち主な8項目の調査結果（データ数のみ）をお知らせいたします。

調査の概要

1. アンケート調査の対象 道民カレッジモニターの皆様	2. 調査期間 平成21年12月～平成22年1月	3. 回答数 212名中137名（回答率64.6%）
--------------------------------	-----------------------------	-------------------------------

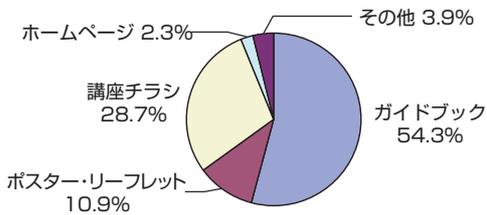
「ほっかいどう学大学放送講座」について

- 今年度、大学放送講座を受講しましたか。

受講した	97人 (70.8%)
受講していない	40人 (29.2%)

※「受講していない」と回答された方の理由：体調不良、時間に余裕がなかった、レポートを書くのが苦手

- 今年度の大学放送講座の情報はどうのようにして知りましたか。



- 今後も大学放送講座は開講したほうよいと思いますか。

思う	117人 (85.4%)
思わない	16人 (11.7%)
無回答	4人 (2.9%)

「ほっかいどう学出前講座」について

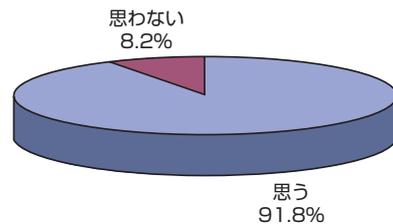
- 今年度の出前講座を受講しましたか。

受講した	60人 (43.8%)
受講していない	76人 (55.5%)
無回答	1人 (0.7%)

- 上記で受講したと回答した方にお聞きします。出前講座は有意義な内容でしたか。

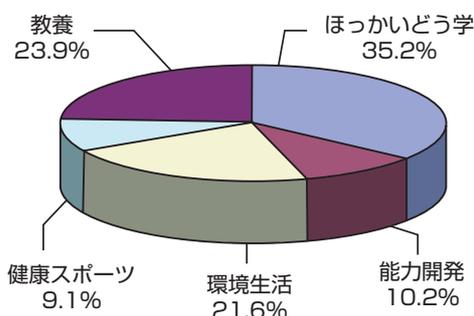
役にたった	55人 (91.7%)
特に役に立たなかった	5人 (8.3%)

- 前講座は、地域課題に対応した課題解決のための地域づくり講座ですが、今後も実施したほうがよいと思いますか。

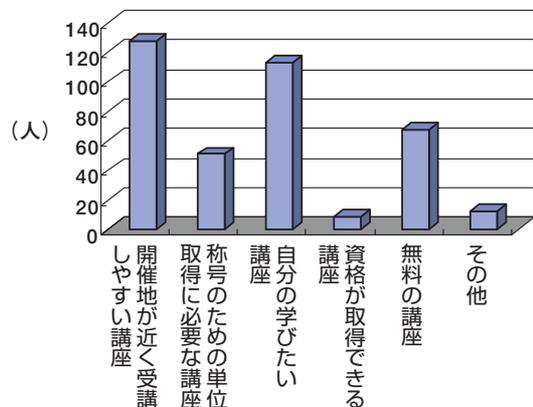


「連携講座」について

- 今後、充実させてもらいたい学習（専門コース）をお聞かせください。



- 連携講座を受講するとき、どのような講座を選択していますか。3つ選んでください。



新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成21年8月7日～平成22年3月12日)

(敬称略)

● 学長奨励賞 (3000単位取得) ●

榎本 総子 (札幌市)

● 学長奨励賞 (2000単位取得) ●

佐々尾雅志 (札幌市)

管原セイ子 (札幌市)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●

佐藤 文彦 (帯広市)
田村 恒夫 (釧路町)
田中 豊實 (音更町)
松田 幸雄 (帯広市)
吉谷 健一 (音更町)

高畑 司 (札幌市)
田中 裕史 (帯広市)
藪谷 義雄 (帯広市)
石岡 六美 (鹿部町)
柿倉桂三郎 (北見市)

● 博士 (300単位取得) ●

今野 義信 (旭川市・ほ)
宮本 高市 (帯広市・ほ)
由田 笑子 (札幌市・ほ)
傳寶 博愛 (札幌市・能)
柿倉桂三郎 (北見市・環/教)
川原 一成 (札幌市・教)
坂本 曠光 (北見市・ほ)
三浦アイ子 (札幌市・ほ)
占部 一誠 (苫小牧市・ほ)

宇賀 邦久 (札幌市・ほ)
久保田法順 (札幌市・教)
犬養 希佑 (札幌市・ほ/環)
管原セイ子 (札幌市・能)
岡本 武雄 (由仁町・ほ)
山田 芳二 (札幌市・ほ)
飛谷 昭一 (旭川市・健)
小笠原康夫 (函館市・健)

藪谷 義雄 (帯広市・環)
熊谷 ゆき (札幌市・教)
三浦 清富 (北見市・教)
木村 信敏 (札幌市・ほ)
佐々尾雅志 (札幌市・健)
吉谷 健一 (音更町・環)
高畑 司 (札幌市・教)
小笠原知子 (函館市・健)

田中 豊實 (音更町・環/教)
酒井 清美 (湧別町・ほ)
五郎部 勇 (札幌市・健)
前田 昭宏 (札幌市・ほ)
佐藤 寛 (恵庭市・ほ)
北川 嘉子 (札幌市・教)
加藤 京子 (北見市・教)
小川 洋介 (札幌市・教)

● 修士 (200単位取得) ●

上口たみ子 (池田町・ほ)
中野 和子 (函館市・健)
管原セイ子 (札幌市・能)
伊藤 義孝 (芽室町・ほ)
三浦 清富 (北見市・ほ)
渡辺 常雄 (江別市・教)
小敷澤幸子 (北広島市・ほ)
夏伐 数夫 (北見市・ほ)
小笠原知子 (函館市・健)

林 葵 (帯広市・ほ)
高畑 司 (札幌市・教)
佐藤 文彦 (帯広市・健)
山田 芳二 (札幌市・ほ)
上野 繁 (札幌市・ほ)
町田 宏子 (札幌市・ほ)
柿倉桂三郎 (北見市・環/教)
吉谷 健一 (音更町・教/環)
今野 武蔵 (美瑛町・ほ)

今野 義信 (旭川市・ほ)
菊地 忠義 (札幌市・ほ)
飛谷 昭一 (旭川市・健/能)
田中 裕史 (帯広市・環/教)
前田 昭宏 (札幌市・ほ)
鈴木 正義 (旭川市・ほ)
松田 幸雄 (帯広市・教)
加藤 京子 (北見市・環)
小川 洋介 (札幌市・教)

石岡由利子 (鹿部町・ほ)
福田 重三 (札幌市・ほ)
石原 照子 (函館市・ほ)
林 芳男 (札幌市・ほ)
傳寶 博愛 (札幌市・能)
平石 修 (札幌市・健)
川原 一成 (札幌市・健)
小笠原康夫 (函館市・健)
奥野 功 (札幌市・ほ)

● 学士 (100単位取得) ●

今野 義信 (旭川市・ほ)
管原セイ子 (札幌市・能)
佐藤 文彦 (帯広市・環/能)
菅谷 隆行 (札幌市・環)
三浦 錦一 (札幌市・環)
田中 裕史 (帯広市・環/教)
佐々尾雅志 (札幌市・能)
青木 秀子 (札幌市・教)
平石 修 (札幌市・健)
坂本 繁光 (音更町・環/教)
大塚 盛二 (札幌市・教)
高畑 司 (札幌市・健)

加藤真知子 (函館市・ほ)
加藤 幸子 (遠軽町・能)
林 芳男 (札幌市・環)
塚田 洋子 (音更町・ほ)
土佐林 薫 (札幌市・ほ)
田仲 尚子 (森町・ほ)
傳寶 博愛 (札幌市・能)
増子 和子 (美瑛町・教)
柿倉桂三郎 (北見市・教)
川原 一成 (札幌市・健)
松田 幸雄 (帯広市・環)
今野 武蔵 (美瑛町・環)

鈴木 正義 (旭川市・ほ)
夏伐 数夫 (北見市・教)
田尾 信弘 (札幌市・教)
長森 武 (札幌市・ほ)
石原富士雄 (函館市・ほ)
松井 洋介 (札幌市・教)
三谷 馨 (札幌市・ほ)
美島 敏弘 (北広島市・ほ)
金田 英男 (帯広市・能/環)
三浦 清富 (北見市・環)
吉谷 健一 (音更町・健)
塚越 孝義 (札幌市・能)

福田 重三 (札幌市・ほ)
後藤 亮一 (札幌市・教)
白藤 一夫 (室蘭市・教)
内田美佐子 (音更町・環/能)
中島 洋一 (札幌市・ほ)
大山みどり (北広島市・ほ)
秋元 博子 (札幌市・教)
木元 秀則 (江別市・ほ)
藪谷 義雄 (帯広市・能/健)
上田 順子 (札幌市・ほ)
窪 隆是 (札幌市・教)
小川 洋介 (札幌市・教)

(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康スポーツ 教：教養

最近の事業から



称号取得者セミナー



学びの広場展 (新冠町)



出前講座 (幕別町)



出前講座 (中頓別町)

カレッジだより Vol.17

平成22年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL(011)204-5780 FAX(011)281-6664

URL <http://www.hsgk.jp/college/> Eメール college@hsgk.jp



出前講座 (鹿部町)